

■第1回白馬村地域公共交通検討委員会 意見要旨

No.	意見等	回答
1. 白馬村地域公共交通計画の検討内容について		
① 高瀬委員	人流データにおいて、白馬村内での所有率とデータ分析の視点・手法等の精査が必要となる。 また、人流データでは、本当は出かきたいが手段がないといった人の意見は得られない。そのため区長等の協力のもと高齢者へのヒアリング等を実施することも考えられる。	データを分析する上で必要となる対象者や母集団の傾向等を整理し、その範囲での分析を行う。 高齢者等の意見収集については、ふれ AI 号の利用状況等から把握する。
② 福島委員	白馬村でゼロカーボンロードマップ作成しているため、報告書内で環境への配慮に関する記載を追加してほしい。	資料を確認し、報告書内に追加する。
③ 工藤委員	既存調査等から地域の声を拾う際に、偏りなく地域全体の声を拾えるような工夫をしてほしい。	意見の偏りが無いよう進めていく。また、関係部署、複数課、複数の目で整理していく。
④ 委員長	第6次総合計画のアンケートに交通関係の設問を設けて、それをこの計画の方に反映することについて、時期の問題や総務課との調整が必要となる。	総務課と調整し設問等を検討する。 反映のタイミングについては、11月にアンケートを実施するため、12月頃に結果が得られる。主に「課題」や「目標」の項目において反映が可能であると考えている。
⑤ 風間委員	タクシー事業者については、1週間に一度とか、10日に一度とか定期的の実務担当者、運転手の声も聞いていただきたい。 乗降場所を通し番号にしてほしい、運転手・利用者ともに困っている。	ヒアリング方法及び頻度、乗降場所のナンバリング等の改善内容については今後対応する。
2. 現況分析について		
⑥ 渡邊委員	大町市の「フリー乗降区間」について、本村でも導入可能か検討してほしい。	デマンドタクシー等の運行方法については、利用実態やニーズに沿った形での改善を検討する。